

とちぎ農産物マーケティング協会 月刊情報（22年2月号）vol.30

◆ 第3回栃木県産農産物等展示商談会を開催

1月20日(水)、マロニエプラザで「第3回栃木県産農産物等展示商談会」を開催した。今回で3年目を迎える商談会は、足利銀行主催の「食の展示・商談会2010」と同時開催で、県内の農業団体や県産農産物を原料として使用している食品関連企業等103団体・企業が出展した(内、当協会ブースは35)。

当日は、食品メーカーや外食・中食関連業者、食品卸売・流通関連業者、ホテル等観光関連業者、小売店等約1,500人が来場し、出展団体・企業と積極的な商品の売り込みや商談が行われた。また、同会場で来場者向けセミナーも開催され、終日にぎわっていた。

今後、この商談会をきっかけとした実取引等の追跡を行い、成果を確認する。



◆ キヤノン宇都宮工場で「とちおとめ」を販売

1月18日(月)、地産地消の日にキヤノン宇都宮工場で「とちおとめ」の試食販売を行った。社員からは、「大きい!」「甘い!」等の声を多く聞き、販売は大盛況だった。

エームサービス(株)宮崎支配人は、「是非また開催してほしい。」「次はいつなのか。」等、多くの社員から問い合わせがあると話した。



◆ 第38回とちぎ蘭展を開催

1月20日(水)～25日(月)、福田屋ショッピングモール宇都宮インターパーク店で「第38回とちぎ蘭展」を開催した。

北関東最大のらん展とあって県外からの来場者もあり、会場は華やかさと春の香りを漂わせていた。栃木県知事賞には、宇都宮市の齋藤宗存氏が受賞した。

◆ 「やすらぎの栃木路」フェア in 六本木ヒルズ

1月23日(土)、六本木ヒルズにて「やすらぎの栃木路」フェア in 六本木ヒルズが開催され、約4,000人が来場した。人気お笑いコンビ「U字工事」と福田知事によるステージイベントで会場を盛り上げ、栃木県のPRを行った。

その他、栃木県のB級グルメ(いもフライや宇都宮の餃子など)の実演販売や、今人気のレモン牛乳・ラスクなども販売した。

また当協会では、県女性農業士による「とちおとめ」の販売をフレッシュメイトとともに応援し、来場者に対しPR及びイメージアップを図った。県女性農業士会の猪野会長は、「生産者が消費者に直接アピールする機会がもてて、とても良かった。」と話した。



◆ とちぎ花フェスタ2010 in ましこ & 栃木県花の展覧会を開催



農林水産大臣賞
足利市 岡田輝行氏の作品

2月5日(金)～7日(日)、益子町総合体育館で「とちぎ花フェスタ2010 in ましこ」&「栃木県花の展覧会」を開催した。

今回のテーマは「うららかに 陶の里から 花だより」で、見る・学ぶ・遊ぶ・買う・味わう といったコーナーを設けて、来場者は花いっぱいの会場で「花をみると自然に笑顔になりますよね」と、花とふれあう一日となった。来場者は3日間で25,000人に達した。

また、栃木県花の展覧会には、スプレーぎく・バラ・トルコキキョウ・洋蘭など220点が展示され、来場者を魅了した。

◆ 特産料理講習会を開催

2月8日(月)、宇都宮市内で栃木県の特産物(かんぴょう・こんにゃく・落花生)を使った料理講習会を開催した。講師は、郷土料理研究家の高島操先生。

地元の消費者30名が参加し、五目ずしや刺身こんにゃく、ごま酢あえ等5種類の料理を作り、消費拡大を訴えた。

◆ なし生産流通改善研究会の開催

2月12日(金)、宇都宮市内において、平成21年度なし生産流通改善研究会を開催した。関係者100名が参加して、「りんご海外輸出取り組みによるブランド化」や身近な「なし生産販売改善事例」等について研修するとともに、生産販路拡大を期した。

今後の予定

2月22日(月)～23日(火) こんにゃく共進会表彰式及び研究会(鬼怒川観光ホテル)

3月1日(金)～4月30日(金) 特選銘柄牛と郷土の味覚フェア～栃木～
(横浜ロイヤルパークホテル 鉄板焼「よこはま」)

上記2ヶ月間、「とちぎ和牛」をはじめ栃木名産を味わうフェアを開催します。家族、お友達を誘って“旨い栃木”をご堪能ください。また、1月8日(金)～3月31日(水)、ホテル内のケーキショップ『コフレ』では、9種類の「とちおとめ」スイーツを販売。併せてご利用ください。

3月4日(木) 特産料理講習会(宇都宮市内)

3月12日(金) 幹事会(JA会館 5-3会議室)

3月23日(火) 理事会(二荒山会館)

3月29日(月) 総会(二荒山会館)

(社)とちぎ農産物マーケティング協会(平成22年2月発送)

TEL 028-626-2150 FAX 028-643-7853

<http://www.tochigipower.com/>